

## 鴨川市教育委員会 12月定例会議事録

- 1 日 時 令和7年12月18日（木） 開会 午後4時00分  
閉会 午後5時15分
- 2 場 所 天津小湊支所2階会議室
- 3 出席委員 (1) 蒔苗茂 (2) 石井千枝 (3) 吉原里夏  
(4) 永島康弘 (5) 丸山伸夫
- 4 出席職員 (1) 山口昌宏 (2) 谷智恵 (3) 岡安泰弘  
(4) 嶋津延枝 (5) 尾形美樹
- 5 傍聴者 なし
- 6 令和7年度鴨川市教育委員会11月定例会議事録の承認について  
・ 蒔苗教育長から、令和7年度鴨川市教育委員会11月定例会議事録について訂正等の確認がなされ、質疑なく、全員の了承が得られた。
- 7 教育長・委員報告  
・ 蒔苗教育長から、11月21日に開催された税の作文入賞者市長伝達式について、3名の生徒が出席し、入賞した作文は素晴らしい内容であったとの感想が述べられた。11月25日に行われたロータリークラブ芸術鑑賞会について、ロータリークラブのご厚意により長狭学園においてピアノ演奏が披露され、子ども達が美しい音色に感激しており、このような本物教育の機会を頂き大変感謝しているとの感想が述べられた。12月6日に亀田医療大学ミズキホールにて開催されたオーシャンズ若潮明社記念講演について、和楽器を中心とした素晴らしい演奏が披露され、ぜひ、このような演奏を市内の子ども達にも聴かせてあげたいとの感想が述べられた。12月14日に行われた千葉ロッテマリーンズ鴨川講演会選手交流会について、千葉ロッテマリーンズの4名の選手と交流を深める機会となり、選手の皆さんには今後の活躍を期待しているとの感想が述べられた。  
・ 石井委員から、11月23日に開催された市民音楽祭について、たくさんの団体が参加しており観客も大勢参觀し大変盛大で良かったとの感想が述べられた。中でも、Yaeさんの歌声やチェロの生演奏、高校生のサックスの音色など素晴らしいとの感想が述べられた。また、今後開催される公民館まつりも楽しみにしているとの感想が述べられた。  
・ 吉原委員から、前回の定例会で子ども支援課長から田原認定こども園が存続するとの話を伺ったが、現在入園している園児が就学し、その下の学年の子どもの人数を見ると、複式学級もすぐそこに来ていると実感しているとの感想が

述べられた。

- ・ 蒔苗教育長から、田原小学校については、今年度、2年生と3年生が本来は複式学級となる人数であるが、校内体制の工夫により、各学年の学年運営ができているとの説明がなされた。
- ・ 永島委員から、12月9日に江見小学校で行われた安房地区教育委員会連絡協議会指定授業研究会授業公開について、5年生の国語の授業を参観し、発言できている子とそうでない子の差が見られたが、発言の回数だけではなく個々の児童がどのように思考しているかどうかを捉えることが大切と感じたとの感想が述べられた。師走の時期となり車の交通量も増えスピードを出している車もあり、高校生の自転車の乗り方なども気になっているので、小中学生も事故のないよう気をつけてほしいとの感想が述べられた。
- ・ 丸山委員から、12月9日に江見小学校で行われた安房地区教育委員会連絡協議会指定授業研究会授業公開について、5年生の国語の授業を参観し、児童が自分の意見の間違いを訂正して発表する場面があり、間違ってもいいという教室の空気があるからこそ活発に意見が述べられると感じたとの感想が述べられた。

## 8 報告事項

### (1) 令和7年第4回市議会定例会について

- ・ 谷学校教育課長から、令和7年第4回市議会定例会行政一般質問通告一覧表をもとに、学校教育課が担当し、蒔苗教育長が答弁した、通告第2号（本吉正和議員から質問のあった「子どもの休暇制度の導入について」）についての報告がなされた。
- ・ 岡安生涯学習課長から、生涯学習課が担当し、蒔苗教育長が答弁した、通告第4号（佐久間章議員から質問のあった「公民館代替施設について」）についての報告がなされた。
- ・ 谷学校教育課長から、学校教育課が担当し、蒔苗教育長が答弁した、通告第5号（福岡梓議員から質問のあった「予告なしの避難訓練について」）についての報告がなされた。
- ・ 岡安生涯学習課長から、生涯学習課が担当し、蒔苗教育長が答弁した、通告第7号（入江裕一議員から質問のあった「文化財保護法による本市の文化財行政について」）についての報告がなされた。
- ・ 岡安生涯学習課長から、生涯学習課が担当し、蒔苗教育長が答弁した、通告第9号（長谷川倫秀議員から質問のあった「旧江見小学校跡地活用について」）についての報告がなされた。

## 9 議 事

### (1) 議案第23号 鴨川市教育振興計画原案の承認について

- ・ 谷学校教育課長及び尾形学校教育課課長補佐から、鴨川市教育振興計画原案について、資料をもとに説明がなされた。

- ・ 石井委員から、現行の第3期鴨川市教育振興計画との違いは何かとの質問がなされた。
- ・ 谷学校教育課長から、現行の第3期鴨川市教育振興計画の基本方針は「ともに学び未来を育む教育文化のまち」であったが、本計画の基本方針は「夢と学びを育む教育文化のまち」であるとの説明がなされた。また、冒頭の説明でも述べたように、本市の実態や課題等を踏まえ「不登校児童生徒支援」や「小中学校の適正配置の推進」など新たな取組も加わっているとの説明がなされた。
- ・ 山口教育次長から、本計画は令和8年度を始期とする「第3次鴨川市総合計画」のまちづくりの基本方針の一つである「夢と学びのまち」に基づき策定するものであり、第2次鴨川市総合計画の基本施策により、教育振興計画の施策分野が、第3期は「学校教育」「生涯学習」「青少年の健全育成」「文化振興」「スポーツ・レクリエーション」「家庭と地域の教育力向上」の6つであったが、第4期は「学校教育」「生涯学習」「スポーツ・レクリエーション」の3つになったとの説明がなされた。
- ・ 石井委員から、前回の策定の時には「教育文化のまち」という言葉が、まちづくりに合わないのではないかとの意見があったと記憶しているが、そういった意味ではないのかとの質問がなされた。
- ・ 山口教育次長から、教育文化という言葉は聞き慣れないと思うが、文化は生涯学習の文化芸術の意味合いがあるとの説明がなされた。
- ・ 蒔苗教育長から、不易と流行という言葉があるが、理念とは不易の領域であり、「夢と学びのまち」や「一人ひとりが輝く鴨川教育」は普遍的なテーマであると考えている。一方で、本市の今日的課題である「不登校児童生徒支援」「小中学校の適正配置の推進」「部活動の地域展開」などは、今後、しっかりと対応していくために本計画に入れ込んでいるとの説明がなされた。
- ・ 永島委員から、本市にも外国籍や帰国子女の移住者が増えてきていることを踏まえ、多文化の子どもから大人まで、日本の言葉や文化を学べるような生涯学習の取組を進めて欲しいとの意見が述べられた。
- ・ 他に質疑なく、鴨川市教育振興計画原案の承認について、挙手全員で承認された。

## 10 閉　　会

蒔苗教育長は、一切の終了を告げ、閉会を宣言した。

以上、会議の顛末を記載し、相違ないことを証する。

令和8年1月22日

鴨川市教育委員会 教育長 蒔苗 茂

教育長職務代理者 石井 千枝

議事録作成（学校教育課長 谷 智恵）